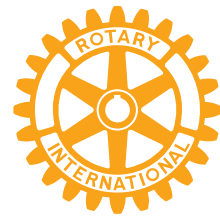


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter **Final**

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨 義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●国際ロータリー世界大会(ソウル大会)及び第3700地区大会の報告	3
●第43回ローターアクト地区大会報告	6
●2015-2016地区RYLAセミナー報告	8
●2015-2016年度 ガバナー補佐退任のご挨拶	9
●2015-2016年度 地区委員長退任のご挨拶	13
●米山奨学生のご紹介/東京葛飾中央RCが長万部RCを訪問	23
●熊本県等災害義援金について/米山寄付	24
●ロータリー財団寄付	25
●松前RCの国際ロータリーからの脱会について/新会員のご紹介/訃報	26
●出席率・会員数	27



感 謝

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯 峨 義 輝** (岩見沢RC)

2016年6月30日を以て366日間に亘るガバナーとしての任務を終了することが出来ました。これもひとえに各クラブ会長・幹事様はじめ会員皆様、地区役員・委員の皆様のご協力とパストガバナー先輩諸兄のご指導のおかげであり心から感謝申し上げます。2015-2016年度はラビンドランRI会長のもと「世界へのプレゼントになろう」をテーマに行動してまいりました。サンディエゴにおいてラビンドラン会長より、この一年はロータリーに捧げてくださいと言われたとおり、毎日がロータリーでありました。地区内70クラブの皆様とは準備段階の会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会そして本年度に入り公式訪問、地区大会、各グループのIM等を通して多くの出会いがあり、新しい発見もありました。本当に感謝であります。

本年度第2510地区として四つの地区目標と三つの重点課題を掲げ、各クラブのお役に立つことを目的に地区運営を進めてまいりました。地区の委員会活動については各委員長からの報告を掲載させて頂いております。其々の委員会においては新しい試みにもチャレンジいただくなど活発に活動して頂きました。委員会の皆様には忙しい中、本当にありがとうございました。

さて地区目標の一つ目は会員増強と維持率向上の推進、会員数5%の純増といたしました。地区全体としては残念ながら目標達成とはなりませんでしたが皆様のご努力の結果、10%以上の増強を果たしたクラブもありますし、多くのクラブで会員を増やして頂きました。種を蒔かなければ芽は出てきません。大きな目標に取り組んで頂いた事でもこれからも遅咲きの花が芽吹いてくると思います。引き続き増強への取り組み、そして声をかけた後のフォローを宜しく願います。ここでガバナーとして皆様にお詫びをしなくてはなりません。それは、松前ロータリークラブの国際ロータリーからの脱会であります。本当に少人数ながら長い間地域に密着したロータリー活動を続けられていましたが6月30日を以てその歴史に終止符を打つこととなりました。ガバナーとして、地区として何とか存続を願っていましたが叶いませんでした。残念ではあります松前RCの会員皆様には今後も地域で活躍されますことを願っています。

二つ目の目標はオンラインツールの利活用の推進でした。特に「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用の推進に取り組んで頂きました。地区委員会もサポート体制を整え、ガバ

ナー補佐の協力のもと各クラブの皆様にはまず登録をお願いしてまいりました。お陰様でロータリークラブ・セントラルに対しては数多くのクラブに参加して頂きました。まだまだ活用という部分では目標の入力等面倒な作業も多く、進んでいないクラブも多いようです。またMy Rotaryも多くの皆様にチャレンジいただき登録も増えていますがやはりその環境にない方や「それ何?」という方もまだまだいらっしゃいます。前にも書きましたが第4・5グループのIMで札幌東RCの某会員が「わかんないけど、まあマイナンバーみたいなもんだから」といったやり取りをされていました。そんなことでもいいと思います。My Rotaryの登録は入口です。中には様々なコンテンツやリソースが詰まっています。自ら情報を得たいと思った時には大変有用です。使わなくてもマイナンバーのように個人資産を把握されるのではといった心配も不要です。是非ご参加を。またウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上という事も取り上げました。広報・IC委員会ではYou Tubeに動画をアップしての広報に取り組みしました。最初に作成した「ガバナー編」では私の性格上固い仕上がりになったため、やや面白みに欠けてしまったようで残念ながら再生回数はいまだ500に届かずという状況です。しかしながらSNSを利用した情報発信は工夫次第でもっともっと可能性を秘めていると思っております。

三つ目は人道的奉仕活動の継続と推進です。これは皆様に多大なご協力を頂きました。月信の中でもポリオプラス委員会に毎月レポートを掲載して

もらいましたがポリオ撲滅まで本当にあと一歩です。この一歩が簡単でないのは重々承知ですが撲滅の瞬間を見たいと思わない人はいないでしょう。継続が必要です。ポリオ撲滅だけでなく復興支援や国際奉仕活動にも皆様の力が必要です。引き続きの参画を宜しく願います。

四つ目はロータリー財団への理解と協力です。これも皆様に大変なご尽力を頂きました。寄付については勿論ですが各クラブ競って補助金を活用した事業を計画され、地域への奉仕を実践して頂きました。その内容もロータリーに相応しい素晴らしいものばかりです。今後も財団への理解を深め、活用して頂きたいと願っています。

こうして書き連ねてきましたが地区目標達成には何れも道半ばだったと反省するばかりです。とはいえここまで来れたのは皆様のご協力があったの事です。一人では一歩も進める事は出来ないでしょう。この一年間の皆様のお力添えに感謝するとともに今後も地区へのご協力をあらためて願います。皆様の益々のご活躍を祈念しペンを置かせて頂きます。ありがとうございました。

国際ロータリー世界大会 (ソウル大会) 及び 第3700地区大会の報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **齋藤 聡** (岩見沢RC)

嵯峨ガバナー夫妻を初めとする第2510地区のメンバー114名で、5月28日より5月31日までの日程で国際ロータリー世界大会 (ソウル大会) に出席させていただきました。

メンバーの中には、前日入りした方もいらっしゃいましたが、27日羽田よりソウル入りされた方の中には、羽田空港での大韓航空機火災事故の影響で、半日以上空港に軟禁?された方もいるようです。

嵯峨ガバナー夫妻及び五十嵐地区代表幹事は、5月28日新千歳空港より午前に出発し、ソウル到着後、ソウル市内からバスで1時間の距離にあるKINTEX会議場 (高陽市) に移動され、大会登録をされました。宿泊先であるソウル市内のロワジュールホテルソウルでの北海道ナイト、第2510地区の皆が集い、語らいの夕べが開催されました。武部



北海道ナイト

ガバナーエレクトより「次年度はアメリカ・アトランタで、ここにいるメンバーで参加しましょう。」と決意を新たにしておりました。

翌29日は、世界大会の開会式、KINTEX会議場に早めに着いたガバナーは、最初に同会場内友愛の家へ、世界中の物産展を堪能し各国の民族衣装をまとったロータリアンと記念撮影、本会議場へと向かいま



KINTEX会議場

した。FMラジオの電波を利用した翻訳機を10000ウォン (1000円) で購入し、いざ開会式に。早めに会場入りした安孫子パストガバナーが席を取って頂いたにも関わらず、会場が広すぎて、どこにいるか結局探せませんでした。嵯峨ガバナーはステージ中央のアリーナ席に座り、開会式に参加されました。



国旗入場式では、百数十各国の国旗がステージに入場し、Japanの名前が呼ばれると、会場内割れんばかりの歓声が響き渡りました。いかに日本人の多いことか、そして日本人であることへの誇りさえ感じます。

韓国で開催中の第107回ロータリー国際大会。これまでで最も多くのロータリアンが出席し、多文化の非営利団体

リーダーの集まりとしては韓国最大級のものとなった今大会では、国連の潘基文(パン・ギムン)事務総長が開会式に出席し、会場に集まった何千人という出席者に語りかけました。「ロータリアンは素晴らしい活動を世界中で行っています。皆さんの活動は、国連が目標を達成し、世界からの理解を得る上で大きな力となっています。」

開会式ではさらに、韓国の黄教安(ファン・ギョアン)首相、ラビンドランRI会長の祖国であるスリランカのラニル・ウィクラマシンハ首相が特別ゲストとして出席しました。(ロータリー国際大会公式ホームページより)

また、最後には、ラビンドラン会長のご家族が紹介され、終始和やかな雰囲気です。

しました。会場の外では、多くの屋台が立ち並び、先に席を温めてくれた?当地区のメンバーは日焼けなのか、アルコールなのかかわからないくらい赤い顔で出迎えてくれました。そこでも、イタリア、ノルウェー、インドなど各国との交流、写真撮影が行われ、世界交流が行われました。(一部にはそれだけを楽しみにしてきているメンバーもいたようです。)

夜は、ガバナー招待晚餐会、本場の焼き肉を堪能しました。

翌30日は、午後3時からの第3700地区大会でしたので、半日ソウル市内を観光しました。宗廟、ロッテデパート、景福宮と歴史と市内の近代的な建物を見学しました。



開会式



会場前屋台にて世界交流



景福宮

昼食には石焼ビビンバ、朝昼晩毎食キムチ、ナムルなどの付け合わせがありました。

第3700地区大会、今回は大邱市ではなくKINTEX会議場を借りての地区大会。第2510地区のメンバーは24名で参加させていただきました。孫昌銖(ソン・チャンス) 総裁夫妻・嵯峨ガバナー夫妻の入場から始まり、ラビンドランRI会長からのご挨拶を賜り、大会決議、クラブ表彰など盛大に

執り行われました。嵯峨ガバナーは、全て韓国語でご挨拶をされ、大歓声の中式典に華を添えました。但し、例年のようなきらびやかさは何もなく、借り会場ということもあつてか、勝手が違っていたようで、準備不足など式典としては今一という感じもしました。



翌朝は、サムゲタン(朝粥)を食し、一路空港へ、新千歳空港にお昼に到着し、解散

式をし、それぞれの帰路へとつきました。3泊4日の短い期間でしたが、世界大会、地区大会と参加させていただき、国際交流をし、大変貴重な経験をさせていただきました。



第43回ローターアクト地区大会報告

ローターアクト地区大会実行委員会

委員長 **田中美晴** (赤平RAC)

平成28年6月25日、赤平市にて地区ローターアクト第43回地区大会を開催いたしました。

今回、地区大会のテーマを、今年度地区ターゲットと同様に「原点回帰」といたしました。

当地区の運営や活動、体制などを見直すとともに、一ローターアクターとして「初心」を忘れず、仲間とのチームワークを大切に、楽しく活動していこうという思いを込めたものです。

今年度は、石川地区代表を中心に、これまで諸先輩方が築いてきた伝統をもう一度振り返り土台を立て直すことを目標に活動してきました。その目標を成し遂げるには、仲間の協力が必要だと考えます。

相手が何を思っているのか、アクトで自分はどういうことをしたいのか、自分のやるべきことは何か…そういったことにみんなが気づき、助け合っていくことで、よりよい人間関係、信頼関係を築きあげることが重要である…そんな思いから、仲間の思いに気づくという「気づき」、そして、信頼関係をしっかりとつくり固めるという「築き」。この2つのキーワードをサブテーマに掲げ、これからの模範となるような地区大会を目指そうと準備を進めてきました。

式典では、記念事業のかわりに今年度の取り組みで力を入れてきた地区活動報告、各クラブ紹介・PRチラシをスライドショーでご紹介しました。これは、地区大会の準備の議論を進めていく中で、各クラブが普段どのような活動・例会を行っているか、同じ地区内なのに知らないこともあるのでは…という話が出ました。今回の地区大会をきっかけに、クラブの様子や活動をわかりやすくアピールできるものを作成すれば、当地区ローターアクトをさらにPRできるのではと考え、各クラブにご協力いただき、参加された方々に手にとってゆっくりと見られるよう冊子にまとめました。

表彰式では、従来の最優秀クラブ賞、会員増強賞、クラブ企画賞…といった賞のほかに、特別功労賞という賞が追加されました。これは、今回の卒業生の中に地区役員をはじめ、様々な活動を行い地区の輪を広めるなど、精力的に活動してきた方に贈られたものです。

卒業式では、今回5名の方が卒業されました。これまでの活動や功績を振り返り、全員で思いを巡らせ

ることができればと、卒業生の写真と一言をスライドショーにしました。

一人ひとりに卒業証書と記念品、アクターから卒業生への一言を贈り、卒業生からも一言をいただきました。最後に、石川地区代表の指揮によるアクターから卒業生への歌のプレゼントを行いました。

閉会式では、地区代表ノミニーの三浦さんによる次年度役員紹介や決意発表、石山ローターアクト委員長からの講評をいただき、最後の点鐘後、石川地区代表を胴上げしました。

懇親会では、赤平火太鼓保存会と赤平ローターアクトクラブの有志による和太鼓の余興を行いました。間近で見る火太鼓の迫りに圧倒されながらも、会場のみなさまには楽しんでいただけたように思います。

こうして、第43回地区大会を無事終了することができました。

今回、地区大会を開催するにあたり、経験の少ない実行委員長の進行だった為、至らぬ点が多々ありました。しかし、ロータリアンの皆さまやOB・OGの皆さま、各クラブの皆さまによるたくさんのご指導、アドバイスをいただきテーマである「原点回帰」を達成することができたと思っております。

最後になりますが、本地区区大会にご協力いただいた皆様、お忙しい中ご臨席賜りました皆様に厚く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

これからも一ローターアクターとしての「初心」を忘れず、仲間を思いやり日々精進してまいりますので、今後も皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



石山委員長



嵯峨ガバナー



田中美晴実行委員長



石川地区代表



太鼓余興



アクト卒業生

2015-2016 地区RYLAセミナー報告

地区RYLA委員会

委員長 **増山 柳** (江別西RC)

2015-2016年度RYLAセミナーが5月14日(土)、15日(日)の両日、嵯峨ガバナーの所属クラブがあります、岩見沢市毛陽町〜自然に囲まれたスパ・インメープルロッジにて開催されました。

今年は17歳から30歳までの社会人21名、大学生1名、高校生2名、青少年交換留学生3名を含め27名の参加者となり、遠くは函館、静内、余市、そして札幌、江別、岩見沢と多方面からの集りとなりました。

昨年度より協力してくれているRYLA学友は、司会進行を始め参加者への言葉かけ等、若者同士でなければ伝わらない部分を十分に担い、まさにリーダーシップを発揮してくれたと思います。これからも学友が中心となってセミナーを盛り上げインターアクト、ローターアクトとして活躍できる人材に育つことを祈っているところです・・・将来のロータリアン迄結びついてほしいのですが。

さて、RYLAは、Rotary Youth Leadership Awards「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として将来、地域社会、職場、学生生活の中で、リーダーとして活躍できる人材を育成する事を目的としたセミナーを開催する事です。

今年度は、地元、岩見沢教育大学で障害者のスポーツに付いて、大山祐太講師による「障害」理解とコミュニケーションについて学びました。



障害とは心身機能の構造によって、社会の中で困る状態であり、法的にも「共生社会」で障害による差別はあってはならず、「アダプテッド・スポーツ」と言う考え方で、小さい子供やお年寄り、妊娠中の人などと同じ視点で捉えることが必要で、実際にゴーグルを付け目の見えない状態を体験するなど貴重な時間を過ごすことが出来ました。

又、昨年度の経験から2日間の流れを大切に指導して頂ける講師として、教育コンシェルジュである森 順子先生(お父様はロータリアンです)をお招きいたしました。

「意図〜人をパワフルに行動させるベクトル」をテーマに、コミュニケーションゲームとして、グループによる自己紹介やテーマを持った話し合いの中で、聞き手の表情や話を快く聞き入れることの大切さを体験いたしました。

1対1での会話の中からは自分自身が何に向かって行くべきなのか、どの様に仕事に貢献してゆけば良いのか、意図を持って考えて行く中で、その方向性を多方面から探ることの必要性を実感できる時間と成りました。

今回は、岩見沢、岩見沢東の2ロータリークラブの皆様からの厚かいおもてなしを頂き、セミナーに参加した全ての方々が笑顔で2日間を過ごすことが出来ました事、そして参加者を推薦して頂きましたクラブの皆様のご協力に心より感謝いたします。本当に有り難うございました。



2015-2016年度 ガバナー補佐退任のご挨拶



第1グループ
ガバナー補佐
高田 潔
(留萌RC)

退任挨拶

嵯峨ガバナーはじめ地区役員のご指導と、岩見沢近郊クラブのご協力により、ガバナー補佐という大役を終えることができました。この間、第1グループ内4クラブには、ガバナー公式訪問、私のクラブ訪問、会長・幹事会、随時の書面提出依頼、そして留萌で開催のIMについて、多大なご協力を頂きました。

深川クラブは、子供達に自ら生きる体験をさせる青少年に関するプログラムの実施。羽幌クラブは自然環境に配慮した活動の実施。留萌クラブは留萌市最大のイベントに自前の行灯で沿道を練り歩き、ポリオ撲滅の活動を実施。妹背牛クラブは「RI意義ある業績賞」を受賞した手作りの「緊急リレーバトン」活動。各クラブ共に特徴ある地域に根差した活動を展開しました。6月15日は、妹背牛クラブの例会に出向き、賞状の伝達をしてきました。

国際大会は、22年前の台北に参加し、今回はソウルに参加し、さらに姉妹地区である第3700地区大会にも参加でき、充実した年度でした。

この1年間、多くの方々のご指導、ご協力に感謝を申し上げ、退任の挨拶と致します。



第2グループ
ガバナー補佐
松原 章
(滝川RC)

ガバナー補佐 退任のご挨拶

一昨年の10月にガバナー補佐(2015-2016)に突然指名され、あれから1年8ヶ月が過ぎました。不安と大役の重さに悩んでスタートした事を思い出します。

しかし、嵯峨ガバナー、地区幹事、地区役員、他グループのガバナー補佐の皆様と一緒に活動をしたことは、ロータリークラブに入会し24年間で経験したことがない充実した一年であり、色々な勉強をさせて戴き、素晴らしいロータリーライフを過ごさせて戴きました事に感謝申し上げます。

又、会長・幹事には、多くの要望、要請に答えて戴き、ガバナー公式訪問、地区大会、新会員合宿セミナー、IM開催に協力をして戴き、全てが無事終了出来ました事に安堵の思いであります。

今年度、嵯峨ガバナーの同士が、これからも健康に留意され、益々ご活躍をされることを祈っております。

本当に一年間お世話になり、有り難うございました。



第3グループ
ガバナー補佐
郷 和平
(江別RC)

ガバナー補佐 退任のご挨拶

第3グループのガバナー補佐を引き受け、あっという間の1年でした。ガバナー公式訪問、補佐としての各クラブへの(4回)訪問、又グループの会長・幹事会開催(3回)等IM、ゴルフパークゴルフ大会と懇親会には、大勢の会員の参加を頂き、会員相互の親睦と交流をはかりグループの友情を深められた事と存じます。

各クラブ訪問の時には、会長、幹事、会員の皆様に歓迎して頂き、また夜間例会には色々とお楽しみさせて頂きましたことを、心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、当クラブの会長、幹事をはじめ会員の皆様方には、ガバナー補佐としての1年間を支えて頂き、無事に退任出来ました事にお礼申し上げます。

また第3グループ各クラブの会長、幹事、会員の皆様の温かいご指導、ご協力に心から感謝申し上げます、御礼のご挨拶と致します。

ありがとうございました。



第4グループ
ガバナー補佐
小山 司
(札幌RC)

ガバナー補佐退任のご挨拶

この1年間、第4グループのガバナー補佐として、その大任を何とか務めさせていただきました。ご指導いただきました地区役員、第4グループのロータリアンの皆様に心から感謝申し上げます。

嵯峨ガバナーの卓越したリーダーシップの下、地区目標達成のための効果的クラブ運営の推進役、各クラブの実情、奉仕活動の実践状況などの情報媒体役として、大変貴重な経験をさせていただきました。なかでも、クラブ訪問、会長・幹事会の開催や、IMなどの諸行事運営を通して、ロータリアンの真摯な取り組みに直接触れることができ、深い感動を覚えました。

与えられた責務を果たそうと務める中で、自分自身がロータリーについて多くを学ぶことができました。まさに役得の多い1年間であったと思います。

ロータリアンの好意と友情に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第5グループ
ガバナー補佐
佐藤 泰彦
(札幌真駒内RC)

ガバナー補佐退任のご挨拶

第5グループガバナー補佐の任期満了に当たり、嵯峨ガバナー、地区役員、各クラブの会長、幹事、会員の皆様、昨年7月から1年間ご支援ご協力を戴きました事に心からお礼申し上げます。

クラブ訪問を4回、会長・幹事会を4回開催する中で、グループの全てのクラブがそれぞれ特徴を持った、意義あるロータリー活動を展開していることを再認識しました。

特筆すべきは、第4・第5グループの合同IMを開催したところ、なんと530名の登録参加を戴きました。この度のフォーラムは当地区として初めての企画で地区のクラブ管理運営委員会とのコラボレーション開催と言う手法によって、「全クラブ参加型」の発表会です。14クラブの皆さんによる「クラブ自慢大会」となりました。

この事は札幌市内クラブがお互いに他所のクラブの活動状況を知る又とない機会でした。今後のロータリー活動を再考するきっかけになれば望外の喜びです。

ガバナー補佐としてクラブと地区とのコネクター的役割を十分に果せず自戒しております。1年間大勢のロータリアンと交流する中で、沢山のロータリーの友情と寛容の心に接する事ができました。皆さんに衷心より感謝を申し上げます。



第6グループ
ガバナー補佐
齋田 義孝
(小樽南RC)

学ばせていただいた一年間

嵯峨ガバナーのもと、一年間第6グループのガバナー補佐を務めさせていただき、その任を終えるにあたり、感謝と安堵の気持ちで一杯です。ご指導いただきました嵯峨ガバナーを始めご支援ご協力を賜りました第6グループ7クラブの会長、幹事さん、そして会員の皆さんに深く感謝申し上げます。

私にとってガバナー補佐役というこの一年間は、改めて“ロータリー”を見つめなおす機会を与えられ、また地区そして第6グループ内の多くの会員の皆さんと、交流する場を持つ事ができました。その意味で何よりも私自身がロータリーを学ぶことの出来た一年間だったと感謝しております。

第6グループの7クラブは、今年度もそれぞれの伝統と地域性にもとづき、親睦と奉仕活動に積極的に取り組んでおりましたが、反面、会員の高齢化や増強等課題も多く抱えております。そこで第6グループのIMテーマを「ロータリーの夢、クラブの未来-みんなで考えようクラブの未来」と設定し、各クラブ毎将来に向けてのクラブ課題を討議してもらい、それをフォーラムの形で7クラブに発表してもらいました。それぞれのクラブが活力あるクラブをどうつくり上げていくか、クラブ内で語り合う機会を持たないかと自負しております。

嵯峨ガバナーの意を受け、元気あるクラブづくりを提唱して来た一年間ですが、その思いが次年度以降の各クラブ活動に反映される事を祈念し、退任の挨拶といたします。感謝！



第7グループ
ガバナー補佐
坂井 治
(千歳セントラルRC)

感謝一杯の一年間

嵯峨義輝ガバナーのご指導のもと地区とクラブの橋渡しとグループ内クラブの相互交流を目指して一年間活動してまいりました。

具体的には各クラブの卓話例会などの情報をグループ内に流し相互にメイクアップすることです。

会員数の少ないクラブでは通常の例会時の4倍以上のメンバーが出席して熱のこもった例会ができました。

またグループの継続性やガバナー補佐の役割の引き継ぎ、クラブの新会長・幹事の早い段階からの情報交換などがしやすいように4回開催した会長・幹事会に後半の2回は次期ガバナー補佐とともに次年度にも参加していただきました。

最終の会長・幹事会にはさらにガバナー補佐ノミニーにもご参加いただきました。

最終クラブ訪問には次年度ガバナー補佐にも同行いただき第1回のクラブ訪問を兼ねてご挨拶をさせていただきました。

IMは全員登録を頂き基調講演にタイ・チェンライロータリークラブの原田義之様にご講演いただきアカ族の現状やボランティアのあり方などについてご示唆いただきました。

自クラブ以外の5クラブを30回訪問し多くの経験をさせていただきました。

バックアップしていただいた所属クラブはじめ関係各位に感謝申し上げご挨拶とさせていただきます。



第8グループ
ガバナー補佐
佐藤 勝
(えりもRC)

退任挨拶

第8グループガバナー補佐の佐藤勝です。嵯峨ガバナーの補佐として任期を全うすることが出来ました。

1年を振り返ってみて、補佐の役割をしっかりと果たせてくれたのかと、自問自答しております。いずれにしても、1年間補佐として学んだ事を武部年度のロータリー活動に活かして参りたいと思います。

1年間色々ご協力ありがとうございました。



第9グループ
ガバナー補佐
守谷 保夫
(伊達RC)

ガバナー補佐退任の御挨拶

1年前ガバナー補佐に突然指名され、あまりロータリー活動に熱心でなく、無知な私でしたが、ガバナー補佐幹事に36歳の優秀な弁護士さんをつけるから、気楽にやってくれ、と前ガバナー補佐から言われ引き受けました。

引き受けるからには、伊達RCを代表する気持ちを強くいたしました。ガバナーの公式訪問に随行し、嵯峨ガバナーの素敵な内容の濃いスピーチに感銘を受けました。また会長・幹事会では、100%の皆様に出席いただき、頼りない私に大いに協力していただき、今年度の地区目標の会員増強5%以上を達成できました。第9グループ当初200人でスタートし最終は213人でした。また、伊達RC主催のIMにも多くの会員が参加していただき、無事盛会に行われました。

1年間を振り返り、嵯峨ガバナーと岩見沢ロータリークラブの方々にお会いでき、楽しく素敵な思い出とともに私も皆様のおかげで、少しはロータリアンとして成長出来たと思っています。ありがとうございました。



第10グループ
ガバナー補佐
坂本 修康
(函館RC)

ガバナー補佐一年を振り返って

2014年12月6日岩見沢において嵯峨年度ガバナー補佐の初会合が開かれた。それは12名によるガバナー補佐の自己紹介から始まった。皆さんそれぞれ立派な挨拶をされ、私のような者が務まるのか不安になった。そんな時に12グループの谷岡裕司(苫小牧北)さんが声を掛けてくれた。緊張していた私の心が和らいだ。

嵯峨ガバナーの所信表明のご挨拶の中で「私の年度ではロータリーデーはあえて設けない、しかしロータリーデーの持つ意義というものは忘れないで頂きたい」との言葉が印象深かった。

それと目玉行事として新入会員の一泊研修会が発表された。これは新入会員が入会したクラブのロータリアンと友情を構築するだけでなく、他クラブのロータリアンのみならず他グループのロータリアンとに広げる事を目的としたものであった。それは2016年1月30日登別において実現した。函館クラブからも3名が参加した。彼らは異口同音にものすごく楽しかった。初めて会った他クラブの人達と夜遅くまで飲み明かした等の報告を受けた。企画は大成功であった。

2015年7月21日の函館セントラルRCを皮切りに各クラブの公式訪問が開始された。それは8月18日の七飯RCまで続いた。随行して各クラブそれぞれ特長ある例会運営をしていると感じた。

嵯峨ガバナーのロータリーデーの持つ意義を忘れてはいけないという思いは10・11グループで合同開催されたIMにおいてテーマをポリオ撲滅にすることにより実現した。それに合わせてポリオ撲滅のための浄財をグループ内のクラブに募った。短期間の内に約6,400ドル(当時のレートで約72万円)が寄せられた。それを誇らしげに嵯峨ガバナーに報告した松見ガバナー補佐の顔が今も忘れられない。

2016年6月11日岩見沢のお寿司屋さんで12名のガバナー補佐のご苦労さん会が嵯峨ガバナー主催で行われた。

想えばあっという間の一年間であった。私はガバナー補佐として何をしたのだろうか何も思い浮かばない。しかし貴重な経験をさせてもらった事は確かである。これからその貴重な経験を私のロータリー活動に生かすことこそが求められる事だと思う。



第11グループ
ガバナー補佐
松見 修二
(函館北RC)

ガバナー補佐の任を終えて

この1年を振り返って、嵯峨ガバナー、地区幹事の皆様、そして、第10・11グループの会長、幹事の皆様に深謝いたします。

6月に入り、ガバナー公式訪問の前に、各クラブ訪問を考えていた矢先、体調に異変があり、7月20日からのガバナー公式訪問に随行出来ない状態になり、急遽大日向直前ガバナー補佐に代行して頂きました。さらに、各クラブの皆様には常に私の体調をお気遣い頂きましたこと、この紙面を借りて感謝申し上げます。

退院して待ち構えていたのは合同IMの準備と企画です。函館RCは実行力と協力性に長けたクラブで、私は少しの企画を提案しただけで全て運営委員長が実行して盛会に導いて戴きました。各クラブに対して、貢献出来なかったことをお詫びすると共に、松前クラブが終了したことは誠に残念です。

2016年規定審議会に見られるようにロータリーは、柔軟性を多くの項目で適用される方向に進みます。次年度の武部ガバナー、増田ガバナー補佐にエールを贈り、任を終える挨拶といたします。



第12グループ
ガバナー補佐
谷岡 裕司
(苫小牧北RC)

ガバナー補佐退任にあたって

嵯峨ガバナーを始めとし、スタッフの皆様の援助をいただき乍ら終えることが出来ました。ありがとうございます。

平成26年2月頃の研修の時、自分は一年間ガバナー補佐の大役が出来るだろうかという不安な思いで始めました。

終ってみると今は楽しい思い出になりました。

クラブ訪問では、地区大会の新会員セミナーで講演をしたきたがわらきみひろ北河原公敬氏の「ロータリーとは、我々が相手の立場を尊重する、恩返し、力のある人は物を持って、知恵のある人は知恵を、微笑みのない人は祈りを持つことです」という言葉を各クラブに紹介を致しました。

また、初めて嵯峨ガバナーが行いました登別での新会員合宿セミナーは、大変楽しく参加を致しました。参加した会員からも好評でした。

今までと違った方向からチャレンジすることがロータリーのマンネリ化から別な道が生まれるような気がします。

また、苫小牧北クラブの皆様が私にガバナー補佐として機会を与えていただいたことに感謝を致します。

2015-2016年度 地区委員長退任のご挨拶

地区会員増強委員会

委員長 **羽部 大仁**
(札幌南RC・PG)



1) 活動概要

ロータリーの優先項目の一つである会員増強は、嵯峨ガバナー年度の地区目標でありました。セミナー始め諸会合に於いて嵯峨ガバナーは会員増強に触れてお話しされました。是非退会防止も念頭に会員増強を勧めて欲しいと挨拶されていたことが印象に残っています。各12グループのガバナー補佐と70クラブの会長始め増強委員会の熱心な努力により、年度目標の5%には少し及ばない結果であったかも知れませんが、心から感謝を申し上げます。次年度の活動に繋がればと考えています。最後に会員維持について各クラブで会員相互に話し合っては如何ですか?会員同士が色々語らうことが大切で、大きな効果を生むと信じております。是非一日も早く取り組んで欲しいものです。

一年間会員増強について考えて参りましたが難しいことが良く解りました。

2) 活動内容

- ① 2015年7月12日(日)地区会員増強セミナーを岩見沢市に於いて市川伊三夫バスターガバナー(第2750地区)を講師に迎え開催しました。素晴らしい講演に一同感激致しました。
- ② 8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に要請のあった5クラブで卓話をを行い会員増強の必要性について話しました。(札幌RC, 8/19 苫小牧東, 8/20 深川RC, 8/25 岩見沢RC, 8/27 札幌南RC, 8/31) 尚札幌RCでは2名の女性会員が入会されました。このことは今後2510地区の会員増強に大きな実績となったように思います。勝木直前会長のご尽力に感謝申し上げます。
- ③ ガバナー月信を通じて毎月の会員数の動向について報告しました。
- ④ 会員総数2,552名、女性会員140名、増強目標の成果26名。

地区RI国際大会推進委員会

委員長 **安孫子 建雄**
(江別RC・PG)



2015-16年度RI国際大会はお隣の国韓国のソウルで5月29日から6月1日に開催されました。RI史上最多の参加を望んでいたようですが過去最多の大阪大会より若干下回った模様です。それでも4万人以上がこの大会に集ったのですから素晴らしい大会でした。

日本からは7千人そして我が2510地区からは113人の参加となりました。近くて遠いお隣韓国に地区の会員がこんなに大勢参加していただき委員会スタッフは感謝いたしております。

今回もいくつかの旅行会社でグループを募っておりましたが、大会前日28日には明洞のロワジュールホテルに皆さんが集まり北海道ナイトが開かれました。嵯峨ガバナーはじめ武部エレクト、国立ノミネーまたバスターガバナー諸氏そして会員の皆さんが一同に集まりホテル最上階からのソウルの眺めを堪能しながら楽しい時を過ごすことができました。

4万人が集まる大会ですから登録が大変かと思いましたが意外とスムーズでした。会場のKINTEXは巨大ですので移動は疲れました。5・6月のソウルは日差しの下では熱く感じましたが連日好天気に恵まれました。

大会当日は午前が外国メンバー、午後は地元韓国メンバーに振り分けられ地元メンバーのいない会場ではさみしい感がいたしました。

開会セレモニーはいつもの流れと変わりませんが、光を使って派手な雰囲気の出演がありました。驚いたのは国連事務総長のパンギムン氏が登場し長いスピーチをされていました。午後は友情の広場へ出向き会場では人々の交流が生まれる様子が見られました。今年は急ぎょ第3700地区大会をKINTEXで行うことになり、対応されたガバナーはじめ参加予定のメンバーにとってスケジュールの変更で大変ご苦労されました。

私自身国際大会参加はバンコクから始まり4回目、韓国は3700地区の訪問を含んで4回目になりました。今回もまたロータリーはインターナショナルであることを改めて感ずることの大会参加でした。

皆さんのご協力に感謝申し上げます。

意義ある業績賞選考委員会

委員長 細川 好弘
(静内RC・PG)



地域へのプレゼントが受賞されました。

RI意義ある業績賞については、地区内1クラブに限られておりますが、第2510地区70クラブ各々が地域への奉仕プログラムが計画され実施されておられることは、嵯峨ガバナー公式訪問時にも確認をされているところであります。数ある奉仕プロジェクトの中から2015-16年度は第1グループ・妹背牛ロータリークラブ(渡辺俊和会長)より申請がありました「救急リレーバトン」を高齢者に配布。4年前に続き、2回目の実施で命を守る社会貢献事業として地域へプレゼントした事がRI本部より認定され表彰状がクラブへ届けられました。

この荣誉は、公共イメージの向上に繋がる奉仕活動として継続される事が更に地域と共に歩むロータリーとして評価されるのではないのでしょうか。

地区文献資料室

委員長代行 岩崎 修一
(札幌東RC)



文献資料室は、中村委員長が年度途中でロータリーを退会されたため、副委員長の私が代行という形で半年間務めさせていただきました。今年度は活動方針として、「次世代の文献資料室作りを目指し、地区史編纂を一つの区切りとし、次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します」のもと活動をしてきました。

文献資料室の設立目的である、情報の蓄積の一端を地道にこなしてきたと考えています。また、資料室には貸し出し用の文献(VHS・DVD)がございますが、各クラブへの用法発信不足等により、地区内各クラブのお役に立てたかはいささか考える余地がございますが、今後は各クラブへの発信方法などの課題を検討していきたいと考えております。

2016-2017年度も引き続き委員長を務めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 宮部 光幸
(札幌モーニングRC)



- ・クラブ奉仕、クラブ管理運営委員会を7年務めた。RIのクラブ運営をめぐる地区の対応に係り続けた。歴代ガバナーの奮闘の一助となることを念頭に歴代委員会メンバーは奮闘したが、何よりも励みになったのは、きわめて冷静に対応し続けるクラブの存在である。
- ・1992年のRIの国際奉仕へのRIの方針の変更は『地域に奉仕の精神を持つ経営者・実業家を育成する』ことを一義とした我が国のロータリーのあり方に強烈な衝撃を与えた。その後、次々と発出されるRIの規定は今も地区のリーダーを悩ませる。
- ・しかし、これを柳に風と受け流し、飄々とロータリーを楽しむ、或いは地域に貢献、それどころか地域の文化(学芸・スポーツ)そのものをになっているクラブが数多くある。地区へ寄せられるクラブ情報を集計・解析することでそれが見えたが、この実像を『他クラブの活動を知る』かつ『共有する』こと、次には『グループで何か目に見える活動を展開する』ことが地区活性の段階としてあることを解析結果は識らしめた。なんとすれば、地区のグループは余りにも様相が異なるからである
- ・本年次はその試みとして第4・5グループのIMでの『多クラブ親睦・活動情報交換』を実験的に行った。この試みにはロータリーの過半の会議・協議の場が上位者による『上意下達』の形をとっていることに対する対局の形を提示である。封建時代でもないのに、同じ話を役員から聞き続ける会員の身にもなってほしい。取りあえず、ロータリーの会員はバカではない。
- ・今年度の最後になってRIの規定審議会の結果が発出された。3年一度のこの発出は3年前に議案の募集があり採決の結果がこの四月に通知されたが、これを天から降ってきたかのように、ただ受け入れるのはどうしたものだろうか。2500地区のガバナー月信を参照されたい。
- ・最後に、クラブ推奨組織の形態『CLP』が規定変更として発出されたのが12年程前のことだった。現在RIの活動にかかわる発出は、クラブがCLPの形であろうが無かるうが、有無を言わず、CLP形で発出される。クラブの自主・自立をRIの精神を十分に理解したうえで、もう一度考え直す時期が通り過ぎつつある・・・(松前クラブのガバナー公式訪問随行を偲びつつ)

地区広報委員会

委員長 杉江 俊太郎
(小樽RC)



「ロータリーの広報」の目的は一般の人々にロータリーを広く知って理解を深めていただき、仲間を増やすことであります。そのためにはロータリーの素晴らしい活動を正しくわかりやすく周りの人に伝える事が必要です。

当委員会ではその考え方をベースに昨年度はメディアの中の文字媒体として「ロータリーデー」に合わせた新聞記事掲載とロータリー活動の紹介を記した入会促進パンフレットの作成を実施しました。

今年度は、さらに各クラブが「ロータリーの広報」として利用できる異なるメディアを活用した広報を検討した結果、特に若い世代に浸透している電子媒体の動画サイトを利用することとし、「ガバナーメッセージ編」と「ロータリー広報編」の2つの動画を作成しました。「ガバナーメッセージ編」では、嵯峨ガバナーと札幌西北クラブ会員の吉田聡子さんからご出演いただき、インタビュー形式でロータリーとロータリーの活動をわかりやすく一般の方々に語りかけ紹介する内容になっています。「ロータリー広報編」では、各クラブや地区の活動内容を多くの写真とナレーションでわかりやすく紹介する内容となっています。この2つの動画は、地区のホームページまたは動画サイト「ユーチューブ」からご覧いただけますので、新会員勧誘や新会員研修にご利用下さい。

また、当委員会に動画を投稿して頂きますと、国際ロータリー第2510地区のグループとして動画サイト掲載できますので、是非この機会に各クラブでも製作してみたいはいかがでしょうか。

この1年間、お世話になりましたガバナーや多くのロータリアン、ご協力頂いた外部関係者の方々に心から感謝申し上げます。

地区IC委員会

委員長 里見 英樹
(札幌南RC)



2015-2016年度はMY ROTARYの登録率向上を中心に委員会活動を行い、各クラブに対し積極的にMY ROTARYの必要性・有用性のPRを行い一定の理解は得られたものの、残念ながら著しい登録率向上には至らなかった。

登録がスムーズに進まない大きな要因としてMY ROTARY登録の際に発生するエラー処理がある。セキュリティの関係でPC環境(ブラウザやメールの環境)により登録が最終までたどり着けないことが多く散見され、それらを回避するにはRI事務局サポートを通じて行わなくてはならなかった。その登録プロセスの煩雑さにより登録を終えることができない会員が多かった。また、PCやスマホ利用に対する距離感から登録に踏み切れない会員も少なくない。

今期は上記のハードルを軽減するため、各クラブに対し、電話サポート利用や卓話での登録呼びかけを行った。(電話サポートについては地区大会でのチラシ配布及び地区WEBサイトにて告知している。)また今後は、必要に応じて希望者によるMY ROTARYの登録代行サービスも行っていきたい。

地区WEBサイトでは情報発信は地区事務所、各委員会の要請にて行われた。とりわけ広報委員会による動画チャンネル(ガバナーメッセージ・ロータリー広報)、ポリオプラス委員会からの情報発信が多数行われた。引き続き他の委員会からの情報提供を通じて地区WEBサイトを更に充実させていきたい。

地区大会ブース設置に関しては前述と重複するが、多数のMY ROTARY登録に関しての相談を受けた。登録に際しMY ROTARYに入力した登録者のE-Mailアドレスの受信の必要性があるため、WEBメール(Gmail)等ですぐさまMY ROTARYからの返信を受ける環境が必要である。

本格的なサポートをする際には、ノートPCやスマホの持ち込みや、WEBメール等での登録を強く推奨している。

残念ながらMY ROTARY登録では地区で掲げた目標には至らなかったが、各クラブに対し更なる登録への普及活動を行い、当期の経験から次年度の登録率向上に際しサポート対象と想定される会員らに向けスムーズな登録サービスが行われることを期待したい。

地区職業奉仕委員会

委員長 福田 武男
(千歳RC)



「The Ideal of Service」(サービスの心)を広めていくことが、ロータリー運動の究極の目的でしょう。ところが残念なことにRIでは、「職業奉仕」はここ四半世紀の間に徐々に軽視されてきており、特に最近の国際協議会においては「職業奉仕」という言葉さえも聞かれなくなり、多くの日本のロータリアンは憤慨しております。どうしてこれ程、世界と日本では「職業奉仕」の扱いに大きな溝ができてしまったのでしょうか。しかしなが

らロータリー運動を今後も力強く押し進めていくには、やはりRIも日本も互いに歩み寄ってポール・ハリスの言う「寛容」の精神の下で、ロータリーの夢に向かって歩むべきではないでしょうか。それにはこのように考えてはどうでしょうか。1927年、RIBIの提案によりオステンド大会でロータリーの組織管理の合理化が行われ、実践上・管理上の利便から抜本的に再編成されて、それまで一本であった「Service (奉仕)」が「四大奉仕」に基づいた委員会構成に分割されました。この時点からロータリーの「職業奉仕」というのは奉仕活動の一つの【純粋な実践部門】となったと考えるのです。すなわちシェルドンが1908年、クラブに紹介した【Serviceの概念】はクラブ活動の中で徐々に涵養されていきますが、1927年、複雑になり過ぎたロータリーの実践活動を管理しやすくするために【4つの実践部門】に分割されて、職業については【職業奉仕実践部門】とされたのです。もちろん【Serviceの心】はクラブ活動の中で年々涵養されていき、それは「職業奉仕部門」だけではなく、四大奉仕のすべての部門に引き継がれていくのです。ところがその後、肝心の【サーヴィスの心】を涵養する部門が、奉仕活動の実践を重視するあまり、クラブ奉仕活動のどこで行うかが不明瞭になりました。親睦(奉仕の心を形成)委員会でしょうか、ロータリー情報委員会でしょうか。今まで職業奉仕はロータリーの金看板と云われてきましたが、もっと具体的に言えば「The Ideal of Service」がその核になっているのです。我々が大切に護り育ててきたものは【サーヴィスの心】、【他の人を助け役に立つこと】です。職業が生活の全てであった時代には職業奉仕そのものがロータリーの根幹でしたが、その後はロータリーの考え方が更に進化して、全ての宗教で大切にされている【黄金律(Golden Rule)】の如く、【サーヴィスの心】がロータリーの遺伝子になったのです。しかしながらRIはロータリーの実践部門を重視し過ぎるあまり、すっかり奉仕の心を涵養するという【RIの最も大切な役割】を忘れてしまいました。RIは今こそ「奉仕理念を涵養」することの大切さを認め、世界中のすべてのクラブに【奉仕の心】を広めることが肝要であります。【職業奉仕】を前面に打ち立ててロータリーを語ることは、若い会員だけではなく誰にとっても理解し難いことです。職業奉仕ではなく【奉仕の理念】をロータリーのDNAと捉えれば誰にとっても分かり易く、クラブという団体でも個人でも職業奉仕活動を実践することができるでしょう。立派な理論を作り上げることがロータリーの目標ではなく、ロータリーは実践にあるのです。【The Ideal of Service】を地域社会に、国際社会に、自分の家族生活に、そして勿論自分の『職業生活』に於いても実践していくことが《ロータリー運動》です。ロータリーは人を作るエネルギーから生ずる力を奉仕活動に伝えていこうとする団体です。「サーヴィスの心を作ること」、「The Ideal Service」こそロータリーの遺伝子なのです。3年の間、塚原房樹PG、ガバナーのみなさま始め委員会の方々、またご指導を頂いた方々に心から感謝申し上げます。また次年度は、玉井清治委員長という素晴らしい方にバトンを渡すことができ誇りに思います。

地区社会奉仕委員会

委員長 遠藤 浩一
(岩見沢RC)



地区内各クラブはさまざまな奉仕活動を行っており、地域社会に地道に取り組み、地域の方々に浸透されていることに多くのことを学ばせてもらっている。クラブの規模に関係なく、ロータリーを愛しその根底にある思想に共鳴し活動している。

その活動は「環境」「育成」「住民活動」などさまざまで、地域ではなくてはならない事業で長期間継続されているものも少なくない。

一方でクラブでは、全ての奉仕活動を奉仕プロジェクト委員会により効果的におこなっている組織も増えている。また予算面でやりくりの厳しい課題もあり、単独ではなく複数クラブ合同での実施要望もある。

まさにRIがいう社会奉仕、「クラブの所在地域または行政区域内に住む人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取組からなるものである」の考えにそうものである。

ロータリーの活動は理念や原理を常に検証する必要がある、けっして自分たちの論理や形式的になってないか検証し、継続の可否を検討する必要がある。

地域の変化や環境に、何を求められているのかを考えて行動する。それがロータリーの社会奉仕だと、少しは理解できるようになった気がする。

人道的な奉仕活動として、東日本大震災の被災者に対する「キッズ・キャンプ」での、子供たちの笑顔は絶やしてはいけないうものだと参加するたびに感じている。

地区国際奉仕委員会

世界の子供たちの笑顔のために

—私達にできること part4—

委員長 松原 重俊
(砂川RC)



今年度も、タイ国3地区(第3340地区ノンカイ、第3350地区アムナットチャロエン等、第3360地区チェンマイ)の実情に応じた事業を実施するとともに、嵯峨ガバナーはじめ20名の参加の中で検証も行いました。

タイ国と10年以上に渡って、水事業・図書館事業・チェックダムなどを中心に事業を実施、子ども達・先生・地域住民の皆様には沢山の笑顔を届けることができました。ご協力を頂いた各クラブの皆様には心からお礼を申し上げます。その中で、両親に置いて行かれたり、亡くなったり、虐待を受けて保護されたりなど、犠牲になっている子ども達が増加している現状があり、子ども達が将来ストリートチルドレンなどにならずに社会の中で生きていくためには、教育や職業訓練を受けることが必要であり、そのために現在、ロータリー財団の協力を受けVTT委員会と合同で「職業訓練支援事業」を実施しております。今後は、タイ国の現状に応じ、持続可能な事業になるよう、将来を担う子ども達にとって最も必要になる事業として力を注いでいきたいと思っています。皆様のお力添えを頂きながら進めて行きたいと考えておりますので、各クラブの皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。今後、事業を継続することは当然の事として、培ってきた友情と絆をさらに深く強いものにし、世界の子供達がいずれも明るい笑顔でいられるような事業展開をしていきたいと思っています。

結びに2015-16年度は、地区内34のクラブから地区国際奉仕事業へ申請を頂き、本当に素晴らしい活動を行う事ができました。この場をお借りして、ご協力頂いたクラブの皆様には感謝申し上げます。さらに、4年に渡り支えて頂いた皆様には心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。2016-17年度は、滝川クラブ谷口正樹副委員長に引き継がせて頂きます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

地区青少年奉仕委員会・地区奉仕プロジェクト

委員長 出村 知佳子
(札幌北RC)



今年度で委員長を退任させていただくことになりました。2年間ではありましたが、皆様の御協力のおかげで充実した期間となりましたのでこの場をお借りして御報告させていただきます。

奉仕プロジェクト全体と青少年奉仕全体としての大きな活動はこの2年間、「東日本大震災で被災された方たちの心のケアを対象にしたキャンプ」、青少年としましては「地区大会青少年並行プログラム」でした。どちらに関しましても委員会の垣根を越えた、ロータリアンの多くのロータリアン、青少年等のマンパワーによるものでした。素晴らしいメンバーに恵まれ、ガバナー、パストガバナー、財団委員長の御理解と御協力をいただいたおかげで、結果としましては委員会だけでなく、青少年との参加者の垣根も越えたものにする事ができました。そして関わったみなさんがみなさんロータリーは素晴らしいと感じたことを確信いたしました。

特に青少年奉仕の活動はすぐに結果を生むことが少なく、未来を見据えての活動が多く、各専門委員会のみなさんの本当に汗を流しての活動がその性質から見えにくいことも多くあります。私自身も目先のことを優先してしまいがちになることが活動の中で多々ありましたが、そんな中で多くの先輩たち、仲間のみなさんと相談させていただく中で、本当に意味での未来と将来を見据えた選択をしていくことが大事であることをこの2年間で学ばせて頂きました。嵯峨ガバナー、羽部パストガバナー、委員の皆様、各委員長の皆様、協力いただいたクラブの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。「ありがとうございました。」

地区ローターアクト委員会

将来のロータリアン候補生と共に

委員長 石山 嘉治
(森RC)



委員長就任初年度に当たるこの一年間の委員会活動は、委員の皆さんの活発な討議を経て合意による運営で行いました。経験豊富な委員の協力により情報共有と事業の取り組みもスムーズに進めることができました。

またアクト地区代表やアクト地区役員の方々とともに委員会同様意思疎通を潤沢に行うことができ、計画された行事に多くのアクターの参加を得ることができました。

当地区ホームページでリンクされているローターアクトクラブの活動紹介を数年ぶりに更新し最新の状況を閲覧できるように致しました。

ローターアクトクラブ・提唱ロータリークラブ間及びローターアクトクラブ理解推進を目指し嵯峨ガバナーにガバナーメッセージをお願いし、地区内12グループガバナー補佐に地区事務所を通じローターアクト紹介文をお送りし、加えて提唱ロータリークラブ統括ガバナー補佐にローターアクトクラブ訪問、ガバナーメッセージ披露を行っていただきました。

ローターアクト地区行事では、アクターの連帯感を高め、また研修についても、物見遊山に終わることなく現地アクターとの交流内容を石川地区代表と相談の上、統一した報告書式でレポート提出を実施することができました。

ローターアクトクラブ認知向上は道半ばですが、地区ホームページやフェイスブック、ツイッター、LINE等のSNSを駆使し地道な周知に努めることができました。

今年度は台湾研修旅行、京都で開催された全国ローターアクト研修会及び環太平洋地域ローターアクト会議でアクターは台湾アクターとまた引率の我々ロータリアンも現地ロータリアンと交流を通じ友情を育み、またでは日本国内、海外のア

クター・ロータリアンとの交流により国際的な視野を広げる良い機会となりました。加えてローターアクト基本理念である指導力開発や奉仕プロジェクトの実践を通じて人間力の向上が図られたのではと感じております。

地区インターアクト委員会

各インターアクト活動報告から

委員長 **山口 史朗**
(札幌東RC)



各インターアクトクラブともに、日頃から活発に活動を行っています。ロータリアン皆様に広くご認知いただき、一層のご理解とご協力の輪を広げるために、限られた紙面ではございますがご紹介させていただきます。

《北海道大谷室蘭高校インターアクト・クラブ》

学校祭：手作りお菓子でチャリティーバザー。10年継続、毎年完売の人気。
資源回収：雑誌やペットボトルキャップ回収。ポリオワクチンになります。
フォレスト柏木：グループホーム慰問。普段高校生と話す機会はないと歓迎。
イタンキ浜海水浴場の清掃：室蘭東RCと共同作業で、年に1回清掃活動。

《札幌第一高校インターアクト・クラブ》

あしなが学生募金：春と秋に参加。大きな声で呼びかけを行い、多くの協力を。
皿洗いボランティア：ミュンヘンクリスマス市で、紙コップや紙皿を使わずにプラスチック製を使うことで、ゴミを削減。
老保施設ライフふくまつ：運動会の手伝いと交流。

《札幌龍谷学園高校インターアクト・クラブ》

キッズサンガ：地域の小学生を集めて「お泊り会」。イベント企画立案から実行まで、すべて手作り。
盲導犬育成募金：通年ボランティア。街頭募金参加と施設訪問。「老犬ホーム」見学で、盲導犬理解を深める。
イベントスタッフ：子育て支援で遊具作り、マラソン給水ボランティアなど。

《札幌山の手高校インターアクト・クラブ》

独居高齢者宅の除雪：町づくりセンターや民生委員と連携、歓迎・感謝される。
障害者施設や保育園などから依頼多数：お手伝いや交流など活発に慰問。

《北海道岩見沢緑陵高校インターアクト・クラブ》

利根別川クリーングリーン作戦：川及び堤防のゴミ拾い。19名参加。
キッズキャンプ：福島県の子供達と体験・研修・交流し、楽しい学びとなる。
ウィルチェアラグビー：車椅子ラグビーの補助役員としてコートでのモップかけ。

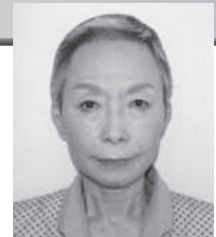
《北海高校インターアクト・クラブ》

花園学院訪問：札幌東RCとの共同活動。手品やバルーンアートなど盛り上り。
学生ボランティア：YOSAKOIソーラン祭りの誘導・受付など ほか多数。

ご紹介はほんの一部です。インターアクターが、純粋に懸命に、ロータリー精神を学びながら汗をかく姿は、まさしく「超我の奉仕」かも知れません。未来を担い、将来のロータリーを支える青少年に、さらなるご支援をお願い申し上げます。

地区RYLA委員会

委員長 **増山 柳**
(江別西RC)



2015-2016年度地区RYLAセミナーが5月14日(土)、15日(日)の両日嵯峨ガバナーの所属クラブが有ります、岩見沢市毛陽町～自然に囲まれたスパ・インメープルロッジにて開催されました。

今年は17歳から30歳までの社会人22名、高校生2名、青少年交換留学生3名を含め27名の参加者となり、遠くは函館、静内、余市、そして札幌、江別、岩見沢と多方面からの集りとなりました。

昨年度より協力してくれているRYLA学友は、司会進行を始め参加者への言葉かけ等、若者同士でなければ伝わらない部分を十分に担い、まさにリーダーシップを発揮してくれたと思います。これからも学友が中心となってセミナーを盛り上げ活躍できる人材に育つことを祈っているところです…将来のロータリアン迄結びついてほしいのですが。

今年度は岩見沢教育大学で障害者のスポーツに付いて、大山祐太講師による「障害」理解とコミュニケーションについて学びました。障害とは心身機能の構造によって、社会の中で困る状態であり、法的にも「共生社会」で障害による差別はあってはならず、「アダプテッド・スポーツ」と言う考え方で、小さい子供やお年寄り、妊娠中の人などと同じ視点で捉える事

なのです。2日間の流れを大切に指導して頂ける講師として、教育コンシェルジュである森 順子先生をお招きいたしました。「意図～人をパワフルに行動させるベクトル」をテーマに、コミュニケーションゲームとして、テーマを持った話し合いの中で、聞き手の表情や話を快く聞き入れることの大切さを体験いたしました。1対1での会話の中からは自分自身が何に向かって行くべきなのか、どの様に仕事に貢献してゆけば良いのか、意図を持って考えて行く中で、その方向性を多方面から探ることの必要性を実感できる時間となりました。

今回は、岩見沢、岩見沢東ロータリークラブ、2クラブの皆様からの厚かいおもてなしを頂きました。参加者を推薦して頂きましたクラブの皆様のご協力に心より感謝いたします。

地区ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 秀雄
(登別RC・PG)



私は2013年7月から3年間、地区財団委員長の要職を務めさせて頂いた。国際ロータリーは110年の長い歴史を大河の如く大きくうねりながら流れている。今それを実感した思い出に浸っている。

私は2003年にガバナーエレクトとして米国・アナハイムで開催された国際協議会に出席した際、「未来の夢計画」という言葉を聞いた。1917年「ロータリー財団」が誕生し、2017年が100周年に当る。それに向けて、財団が時代にあった存在であり続けるために改革を進めたいとの財団管理委員会の意向で始められた事業で、2005年に「未来の夢委員会」が設置され、2007年の規定審議会で採択、2008年RI理事会で承認、2010年には世界100地区でパイロット・スタディーが、そして2013年から世界全地区で実施されている。それに先立って、2013年1月のサンディエゴでは国際協議会に全国の次期地区財団委員長が召集され、最終日にガバナーエレクト(当地区は安孫子建雄GE)と一緒に、その翌日は委員長だけの財団セミナーを受講する準備と、念の入れように驚いた。この計画の目的は、財団の使命に沿ってプログラムと運営を簡素化することと、意志決定権の一部(地区補助金)を地区とクラブに移行することで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めることにある。

これらの計画から決定、実行に10年を費やしている。しかも綿密に、着実に実施された行動力に英知とすごさを感じる。実施されて3年が経過した現在、各クラブに新しい補助金の仕組みがご理解頂けるようになってきたが、私の力不足でまだまだ不十分である。にもかかわらず財団小委員会の各委員は懸命にその使命に取り組んでくれている。またそれに協力して下さるロータリアンにも感謝を申し上げたい。変換期の財団委員長を務めて、あらためてロータリーの目的と、世界と日本の立場等貴重な体験を学ばせて頂いた事にも感謝を申し上げる。

地区財団資金推進委員会

委員長 坂下 賢二
(函館セントラルRC)



2013年度より実施された財団の「未来の夢計画」に際して、財団委員会の下に新設された「財団資金推進委員会」の委員長を務めさせて頂きました。当委員会は、地区における財団への募金活動と寄付者の表彰や認証を管理、監督の役割を担っております。

1917年の国際大会で当時のRI会長アーチC.クランプは参加者を前にして「全世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう」と提案し、創設を呼び掛けました。この時に語られた「Doing good in the world 世界でよいことをしよう」の言葉は、現在ロータリー財団の標語となっています。翌年カンザスシティRCが26.5ドルを基金に寄付しました。これがロータリー財団にとっての最初の寄付金となりました。

ロータリー財団が最初のプログラムとして実施したのが、18名の大学院生への奨学金の贈呈でありました。これが国際親善奨学金制度の始まりとなりました。その後ロータリー財団は多くのプログラムを生み、多くの賛同と参加を得てきました。地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化し増大するには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要であります。

2004年の規定審議会で「Every Rotarian Every Year」が支持され「一人一人が毎年寄付をして下さい」ということが決議されております。

当地区では、2014年度より一人当たりの寄付額は150ドルをお願いしております。この年次寄付の他に恒久基金、指定使途寄付、ポリオ撲滅への協力につきましてもお願いしておりますが、ロータリアンの皆様のご理解がもうひとつ進んでいないのが残念であります。

しかしながら、ご協力を頂きましたロータリアンの皆様には厚く御礼申し上げます。

社会経済が不安定で景気回復もままならない今日、財団へのご寄附をお願い致しますことは非常に心苦しいことではありますが、世界平和の達成・維持に向けてのご理解とご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。

地区財団補助金委員会

委員長 齋藤 康嗣
(札幌真駒内RC)



嵯峨年度は、地区財団補助金のクラブ支給を8月10日に行いました。申請の締切りが4月30日となり、審査は5月～6月に行いました。6月19日に最終審査を行い、各クラブに20日審査結果を報告いたしました。7月20日にロータリー財団に申請し、8月3日にロータリー財団から承認をいただきました。

未来の夢計画は3年目になりました、各クラブとも、申請内容も地域社会に奉仕する内容が多くなり、補助金を有効に活用しているようです。

2015-2016年度の状況をご報告いたします。

2014-2015年度	ロータリー財団からの地区補助金額は	1ドル	120円	9,000,000円
配分は	地区クラブ奉仕補助金	4,500,000円		
	地区財団奨学金	1,600,000円		
	地区国際奉仕	1,300,000円		
	地区社会奉仕	1,200,000円		
	R Y L A	300,000円		
	その他	100,000円		

地区クラブ奉仕補助金申請件数	31件	申請額	9,723,656円
承認件数	31件	決定額	4,442,729円

6月末締切の地区財団補助金報告書の提出は6月17日現在、27件です。

補助金は3年前の各クラブ寄付金額が審査の対象になりますので、各クラブの皆様は長期計画での奉仕活動を考えて申請をお願い申し上げます。

各クラブの皆様には申請の手続きをいただき、またご協力をいただき深く感謝いたします。有難うございました。

地区職業研修チーム(VTT)委員会

国際奉仕・VTT委員会
さらなる発展へ

委員長 富岡 豊
(静内RC)



羽部年度に急遽VTT委員会が立ち上がり、前神部委員長がご苦労されVTT委員会を理解する事が出来、嵯峨年度に私が委員長を引き受ける事となりました。VTT委員会は地区財団委員会、国際奉仕委員会を中心にプロジェクトとして組織化され、派遣する専門職種メンバーを選任し社会奉仕や広報・RYLA・学友委員会等も加わり『職業訓練支援事業委員会』として活動してまいりました。

タイ東北地区(ノンカイ県)では、生徒が全員孤児であるロイヤルキングスクールがいくつもあります。そうなった背景は様々ですが、親の虐待、貧困、教育の無さによる要因等がその主な理由です。ここに来る前の子供達は生きていく為、ストリートチルドレンとして児童売春等をしていた子供達等、悲しい環境の中にいた子供達ばかりです。中にはタイ北部から送られて来た子供達もいます。この子供達には家がなく学校で生活し、夏休み等も学校で過ごしていますが、卒業後はここを出ていかななくてはなりません。しかしながら、卒業後も仕事がなく、生きる為にまたストリートに戻ってしまうという悲しい構図があります。そんな背景の中、なんとかこの負の連鎖と悪循環を少しでも食い止める為、子供達が就学中に生きていける力、技能を身につけてもらおうというのが職業訓練支援事業です。現地のニーズにより、洋裁等の技術を身につけて制服やユニホームを作る技術を身につけ、自分達の制服やスポーツウエアを自身で作り、更には製品化して他の学校等にも販売できるようにすれば、将来はそこの作業を支えたり、工場に就職したり、自分のお店を持ったりと生きていく力を身につけることを目指します。

2016-17年度の武部年度より地区国際奉仕・VTT委員会として発展しパワーアップしてまいります。今後共、各クラブにおかれましては海外支援事業に対しましてご理解と積極的なご参加をお願い致します。

地区奨学金委員会

委員長 齊藤 博司
(千歳セントラルRC)



「未来の夢計画」がスタートして3年。地区の裁量で実施できる文化研修留学については、毎年2名ずつを各国に派遣してまいりました。また、グローバル補助金対象者（RIの承認が必要）の派遣については、昨年までは1名ずつでありましたが、本年度は2名となり、文化研修生2名・グローバル補助金留学生2名の計4名を派遣することができました。

遠藤財団委員長（PG）ならびに財団委員そして当委員会メンバーの努力によりグローバル補助金対象者の1名増の派遣になったことが成果の1つです。

近年の傾向としては、社会人優先の文化研修生の応募が少ないように思います。やはり、3ヶ月・6ヶ月の長期の休職は大変なのでしょうか？まだまだ啓蒙をしていくつもりです。本年度は、医療関係・食品関係・薬品関係・JICAなどにはたらきかけ、説明をしたつもりです。これに対し、グローバル補助金留学生の応募は年々増加しております。

次に、財団学友との関連で米山学友会との交流・親睦を深め、同じ帰国後の奨学生として将来はロータリアンたらんことを思い描いております。

奨学生のオリエンテーションについては、本年度から地区裁量の文化研修生とRI承認が必要な留学生とは制度上違いが生じておりますので、合同で行うものと別々に行うものとに区別して実施しました。

地区財団学友委員会

1年間の活動を終えて

委員長 前田 浩人
(苫小牧RC)



次年度、財団学友委員会の廃止と学友委員会の設立に伴い、今年度財団学友委員会の委員長として、1年間活動させていただきました。菅原前財団学友委員長の運営方針を受け継ぎ、財団学友会との連絡を密にし、委員会の活動方針を学友会と共有しつつ1年間運営することができました。その中心事業として、「帰国報告会」および「学友会総会」があげられます。これに合わせて、ニューズレターの最新号の作成も実施されました。今年は学友やロータリアンを中心に55名と例年の参加者数を超える出席をいただき、今年度も無事終了することができました。ガバナ―はじめ、御出席のロータリアンの皆様にはこの場を借りて、御礼申し上げます。さらに今年度の報告会では、国際親善奨学生3名、職業研修チームから1名の報告となりました。彼女たちには、今後、当地区での活躍を期待しております。

今年度の活動の中で、印象深かったことは、「日本学友会」や「米山学友会」との絆が深かったことです。この両者の総会には、学友委員会あるいは学友会より数名の代表者を派遣することができました。今後、学友から多くのロータリアンを輩出することができれば、本地区の活性化に大いに寄与することが出来ると期待しているところであります。

次年度は、「職業研修チーム」から新たな学友をお迎えするとともに、ローターアクトやインターアクト、また、青少年交換のOBも学友として学友委員会の管轄になることとなりました。ロータリーと学友とをつなぐ一環として、学友委員会の役割はますます大きくなります。私は、今年度で委員長を退任させていただきますが、次年度も引き続き委員会に残ることになっております。今後も微力ではございますが、学友委員会の発展に力を尽くしたいと思っております。1年間どうもありがとうございました。

地区ポリオプラス委員会

ポリオ撲滅活動の1年間を振り返り

委員長 岡崎 芳明
(小樽南RC)



RI第2510地区の皆様には1年間ご協力ありがとうございました。今期は世界ポリオデーを中心としてポリオ撲滅寄付のキャンペーンなどを行って頂く様に皆様をお願いしましたが、やはり前年度にあった様なロータリーデー等の地区イベントが無かった事もあり、1年間を通して盛り上がりを作れない1年だったと反省しております。今期初めにポリオアンケートを実施して皆様のご意見を伺いました所、前年度ポリオに力を注いだので今期は他の奉仕事業に寄付を募る予定というクラブや、ポリオは何時まで寄付を続けるのかと言う質問もあり、日本では撲滅されているポリオに対して寄付を集める事の難しさを痛感しております。ただ嬉しい報告も有り地域のイベントや祭りを利用したポリオ撲滅活動の写真を添付した報告も多数ありました。

今期のポリオ目標寄付額は会員1名30ドルであり、それを達成したクラブには地区より（ポリオ1人30ドル達成クラブ）の

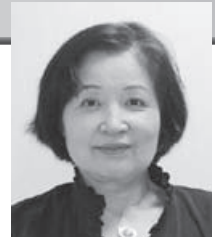
バナーを製作し達成年号を入れてお送りする予定です。このバナーは次年度の武部ガバナー年度も今期と同じ(会員1人30ドル)なので次年度も達成年号を入れたバナーをお送りする予定です。併せて次年度は地域のイベントに参加してのキャンペーン活動を推奨したいと思っております。

今期が始まって直ぐにポリオ常在国からナイジェリアが外れました。アフリカ地区が常在国から外れ2年監視を続けてポリオが発症しなければ初めてポリオフリーとなります。現在アフガニスタンとパキスタンの政情不安定な二カ国が常在国です。ポリオを撲滅しない限り世界でワクチンの複数回接種が必要になります。先達ロータリアンのお陰で現在1%以下に減少したポリオを撲滅する事が一番難しい所です。ポリオ撲滅の一番の問題は資金不足と言われており、今撲滅の手を休めると今までの苦労が水の泡になります。今後とも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

地区米山記念奨学委員会

楽しかった米山記念奨学生との交流

委員長 渡邊 葉子
(札幌西北RC)



今年度は、地区大会において“お茶サービス”を初めて行いました。奨学生・新しい学友と共に会員の皆様に日頃の感謝をお伝え出来た素晴らしい1日でした。準備を一手に担っていただいた岩見沢クラブの山本幹事・小林委員大変お世話になりました。有難うございます。研修旅行も初めて一泊で行いました。奨学生の親睦が目的ですが、カウンセラー・委員とも交流が出来、ロータリーへの理解が深まりました。学友となった後も長く交流できる基盤となる行事でした。

米山記念奨学事業が国際ロータリーにおいて意義ある活動と認められ、ロータリーファミリーの仲間としてソウル世界大会において学友が分科会を担い、学友会合同懇親会も開催されました。懇親会において、台湾からの学友、許國文氏:第3490地区パストガバナー(2005~06):と親しくお話しする機会を得、台湾学友会が行っている台湾で学ぶ日本人のための奨学金制度について少しずつ支援できる人数が増えてきていると熱く語っていただきました。

米山事業の国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な学生を支援した成果は、今徐々にではありますが、形となり実となりつつあります。文化・価値観の違いを超えた人と人との繋がりの中に世界平和は見えてくるものではないでしょうか。

財源は全て皆様の寄付によるこの事業へのご理解・ご協力を今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長として3年間の任期を何とか終えることが出来たのは、会員の皆様、ガバナー・地区幹事・委員の皆様の絶大なご支援の賜物と心より感謝いたしております。ありがとうございました。

地区米山学友委員会

委員長 本多 宏行
(余市RC)



今年度も米山学友委員会並びに米山学友会(北海道)に多くのロータリアンの皆様より、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度は、米山学友会の運営を支援する外に毎年連絡が取れなくなる会員が増えていく学友会の現状に歯止めを掛けようと、元米山奨学生の連絡先確認調査を行いました。調査対象となる元米山奨学生は394名にも上るため、世話クラブを通じて元カウンセラーに確認作業をお願いする事となりました。結果、今回の調査を通じて35名の連絡先を新たに確認できましたが、今後も引き続き調査を続ける必要性を感じました。また、この調査により80名近くのカウンセラーがクラブを退会または逝去され、2つのクラブが脱会していることにより、調査不可能な元米山奨学生が100名近くになることも確認されました。ご協力を頂いた各クラブ元カウンセラー様に心から御礼申し上げます。

11月に開催されました米山学友会(北海道)の定時総会では、長らく会長を務めてこられた陳会長が辞意を表明したので17年ぶりに新会長が誕生しました。懇親会の席では、奨学生の時にロータリーにお世話になったことへの感謝の気持ちと、米山学友会への自らの思いを熱く語られ、参加した沢山のロータリアン、財団学友、米山奨学生、米山学友から祝福を受けました。

4月に新規事業として札幌南ロータリークラブの協力の下、豊平川河川敷の清掃を行いました。

5月に新規事業として米山学友会の歓迎会を開催しました。学友会の新会員入会のお祝いと、新たな米山記念奨学生誕生のお祝いと米山奨学事業に携わる人達との交流を目指しての開催でした。

今年度は、米山学友会の新会長と共に新規事業を二つもスタートさせた年となり、また米山学友会の活発な活動こそ米山奨学事業を後押しする力になるものと確信する1年でもありました。

最後に、今年度を持ちまして米山学友委員会、最後の活動の年となりました。2002年設立以来、これまで委員会を支えてこられました歴代委員長はじめ歴代委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

地区グローバルリワード委員会

新しい潮流は何処へ

委員長 鍋谷 操子
(函館セントラルRC)



ラビンドラン2015-16年度RI会長とRI理事会は、クラブ会員の満足度と維持率を高め、会員皆様の奉仕活動やロータリー財団への支援に対して感謝の気持ちを表すために、会員だけが利用できる「ロータリーグローバルリワード(会員特典プログラム)」を2015年7月から実施することを決定しました。

RIにおいては、この普及・推進を図るために、長年禁止していたロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助を認める決議をし、また地区に対してこの普及・奨励を図るための委員会の設置を要請しました(当地区では2015年8月に委員会を設置)。

当委員会としては、RIの指導に基づいてプログラムの推進を図る所存ですが、現時点では英文のみの案内で、米国中心での運用が主体であり、「My ROTARY」でその概要を知る程度しか情報が無く、今後の進展を期待しているところであります。

2016年国際協議会でのラビンドランRI会長の講演によりますと、7月1日以降、半年ほどでサイトへの訪問者数は44,000人以上、利用者数は12,000人を超えており、その半数ほどが、掲載されている約700種類の特典のいずれかを利用しているとのことであります。

2015年度においては、プログラムの国内での利用に難点があり、また割引の度合いや提供サービスエリアの制約などによって、活用実績は乏しいのではなかったのかと推察しておりますが、今後充実していくものと期待しております。

なお、RIにおいては、当プログラムの実施に先立って、会員の相互扶助禁止行為を排除しましたが、奉仕の基本理念との絡みで疑念を抱いておられるロータリアンもおられます。

このために2016年度は、地区の「職業奉仕・基本理念委員会」での検討状況や会員皆様からのご意見を配意し、他の地区での動向などを参考にして、RIの方針に協力していく道を探って参りたいと考えております。

～米山奨学生のご紹介～

日本語サロンで過ごす楽しい時間

リュウ ジャ
劉 佳 (函館RC)

私は中国の西安出身の劉佳(リュウジャ)と申します。現在、公立はこだて未来大学で博士課程の学生です。私は時間があるとき、函館にある青年センターという所で行われている日本語サロンに参加しています。その先生とスタッフの皆さんはとても親切です。その先生方は私に日本語を一对一で教えて下さいます。また、この日本語サロンでは、地球祭り、山登り、ポットラックパーティなどの様々な活動が行われています。私は日本で生活する中で、日本についての様々なことを学び、多くの友達もできました。日本語サロンの先生がロータリークラブを私に紹介して下さい、奨学金機構に応募すれば奨学生になれるかもしれないと助言して下さいました。私はこの日本語サロンでの時間を非常に楽しんでおり、私の人生において忘れられない思い出になるでしょう。



東京葛飾中央RCが長万部RCを訪問



東京葛飾中央RC会長 石川 宏 太
長万部RC会長 赤 塚 章

6月26・27日東京葛飾中央RCが友好クラブの締結をした長万部RCに訪問しました。

第2510地区10G補佐の坂本さん(函館RC)と同席し第2580地区、東分区鈴木ガバナー補佐も来町し、友好の絆を深めました。

写真は40周年記念に寄贈した花時計前です。

『熊本地震災害義援金』報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました4月に発生しました『熊本地震災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の69クラブから総額3,838,000円を頂戴致しました。

6月13日に国際ロータリー第2720地区が開設した災害義捐金口座にお振り込み致しましたのでご報告申し上げます。ありがとうございました。

深川RC、羽幌RC、妹背牛RC、留萌RC、赤平RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、蘭越RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC、えりもRC、三石RC、様似RC、静内RC、浦河RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、松前RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

室蘭RC	多田 昌央	会員(1回)	5月13日	小樽RC	渡邊 康宏	会員(1回)	6月9日
深川RC	佐々木弘有	会員(1回)	6月22日	小樽RC	平松 正人	会員(1回)	6月9日
滝川RC	深澤 和範	会員(3回)	6月14日	小樽RC	佐々木一晃	会員(1回)	6月9日
札幌北RC	瀧澤隆之介	会員(1回)	6月13日	静内RC	福田 義信	会員(1回)	6月27日
札幌北RC	黒川 篤	会員(1回)	6月13日	静内RC	小國 和紀	会員(1回)	6月27日
札幌北RC	中瀬 智成	会員(1回)	6月13日	函館五稜郭RC	奥田 武彦	会員(1回)	6月17日
札幌北RC	姫野 芳安	会員(1回)	6月13日	函館五稜郭RC	小林 大輔	会員(1回)	6月17日
札幌モーニングRC	齋藤 貴之	会員(1回)	6月29日	函館五稜郭RC	濱中 公也	会員(3回)	6月17日
札幌モーニングRC	井野 智	会員(2回)	6月29日	函館五稜郭RC	上加 淳悦	会員(3回)	6月17日
札幌モーニングRC	坂本 勝彦	会員(8回)	6月29日	函館五稜郭RC	横岡 孝一	会員(4回)	6月17日
札幌西北RC	渡邊 葉子	会員(4回)	6月30日	函館五稜郭RC	大日向豊吉	会員(4回)	6月17日
札幌手稲RC	平川 香織	会員(1回)	6月23日	苫小牧東RC	関 千代子	会員(1回)	6月7日
札幌手稲RC	丹羽 祐而	会員(1回)	6月23日	苫小牧東RC	木本 宏	会員(2回)	6月7日
札幌幌南RC	羽部 大仁	会員(11回)	6月30日	苫小牧東RC	児玉 和雄	会員(4回)	6月7日
倶知安RC	長谷 一	会員(1回)	6月9日				

米山功労クラブ

倶知安RC	第1回	6月9日	函館五稜郭RC	第24回	6月17日
-------	-----	------	---------	------	-------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

札幌RC 小山 司 会員(レベルI) 6月30日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	朝倉 正人	会員(3回)	5月31日	江別RC	金田 敏雄	会員(2回)	6月17日
札幌真駒内RC	高野 園子	会員(2回)	5月31日	札幌モーニングRC	広瀬 進	会員(1回)	6月30日
札幌南RC	遠藤 昭一	会員(1回)	5月19日	札幌モーニングRC	藤森 敏昭	会員(2回)	6月30日
小樽RC	平松 正人	会員(1回)	5月20日	札幌西北RC	小林 秀樹	会員(3回)	6月30日
小樽RC	富樫 栄	会員(2回)	5月20日	札幌幌南RC	松永さやか	会員(1回)	6月30日
千歳RC	福田 武男	会員(8回)	5月31日	札幌幌南RC	舩田 雅彦	会員(2回)	6月30日
室蘭RC	飯尾 哲也	会員(1回)	5月13日	札幌幌南RC	奥村 建夫	会員(2回)	6月30日
函館北RC	弗田 和則	会員(1回)	5月12日	札幌幌南RC	戸井 敏夫	会員(2回)	6月30日
函館北RC	吉田 勤	会員(1回)	5月12日	札幌真駒内RC	丸山 淳士	会員(6回)	6月1日
赤平RC	菊島 好孝	会員(2回)	6月30日	千歳RC	末廣 孝	会員(2回)	6月10日
赤平RC	木村 盛雄	会員(2回)	6月30日	千歳RC	藤本 敏廣	会員(4回)	6月10日
赤平RC	宮川 徹	会員(4回)	6月30日	千歳RC	川端 清	会員(4回)	6月10日
赤平RC	高江智和理	会員(1回)	6月30日	函館亀田RC	安達 智紀	会員(2回)	6月3日
滝川IRC	宮崎 英彰	会員(1回)	6月14日	函館亀田RC	黒川 則男	会員(2回)	6月3日
滝川IRC	岡本 皓	会員(1回)	6月14日	函館五稜郭RC	小林 大輔	会員(1回)	6月17日
滝川IRC	渡邊 恭久	会員(5回)	6月14日	苫小牧RC	青地 洋一	会員(1回)	6月8日

■ポール・ハリス・フェロー

恵庭RC	敦澤 君治	会員	5月12日	札幌モーニングRC	紫藤 正行	会員	6月30日
函館北RC	深瀬 晃一	会員	5月12日	札幌手稲RC	平川 香織	会員	6月23日
函館北RC	成田 豊	会員	5月12日	札幌手稲RC	丹羽 祐而	会員	6月23日
深川IRC	佐々木弘有	会員	6月23日	札幌幌南RC	蝦名 大典	会員	6月30日
赤平RC	三上 洸二	会員	6月30日	札幌幌南RC	高木 宏壽	会員	6月30日
滝川IRC	上田 秀司	会員	6月14日	千歳RC	大澤 雅松	会員	6月10日
札幌北RC	黒川 篤	会員	6月23日	千歳RC	榊原 潤	会員	6月10日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員	6月30日	函館五稜郭RC	奥田 武彦	会員	6月17日

■ベネファクター

岩見沢RC 嵯峨 義輝 会員 6月21日

松前RCの国際ロータリーからの脱会について

地区代表幹事 **五十嵐 閣**

松前ロータリークラブは2016年6月3日の例会において、2016年6月30日を以って国際ロータリーから脱会することを採択しました。

1969年3月の発足以来、47年の長きにわたるロータリー活動に終止符が打たれることとなります。2000年当時は12名の会員の在籍がありましたが、その後会員の減少が進み、ここ数年は4名となっております。会員の高齢化も進み、会員増強も難しく、クラブ機能の喪失が顕著となっていたところ、3月31日に1名の退会届が提出されました。

今後の継続は困難と判断し、脱会する決断に至りました。少ない会員で、今日まで奉仕活動に取り組んでこられました歴代会長はじめ会員皆様に、敬意を表しますと共に、再起の日が来ることを期待して報告いたします。

新会員のご紹介 (敬称略)



苫小牧RC
堀 孝子
6月3日入会
ホテル



小樽RC
山口真三子
6月7日入会
畳製造



小樽RC
大崎 誓也
6月7日入会
リゾート



岩見沢RC
木元 久嗣
6月9日入会
不動産管理



岩見沢RC
柿本 武恒
6月23日入会
建築金物卸

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。



高桑 栄松 会員 (札幌RC)
2016年5月4日ご逝去 (享年98歳)

【ロータリー歴】
1959年8月 入会
1977～78年度 クラブ会長
2009年8月 在籍50年表彰



山吹 啓之 会員 (小樽南RC)
2016年5月30日ご逝去 (享年68歳)

【ロータリー歴】
2000年6月9日 入会
2010～11年度 幹事
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回)
米山功労者

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.5.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	36	2	3	89.37
	羽 幌	3	43	46	3	2	89.46
	妹背牛	3	11	11	0	0	78.78
	留 萌	3	38	41	3	3	80.92
	小 計		126	134	8	8	84.63
2	赤 平	4	26	25	-1	0	69.51
	芦 別	4	37	34	-3	2	80.46
	砂 川	3	37	39	2	0	93.94
	滝 川	3	78	84	6	4	76.00
	小 計		178	182	4	6	79.98
3	美 唄	3	32	30	-2	0	83.34
	江 別	3	31	36	5	1	79.63
	江別西	4	26	27	1	3	87.90
	岩見沢	4	73	79	6	0	95.57
	岩見沢東	3	22	22	0	3	85.48
	栗 沢	3	22	22	0	1	86.13
	栗 山	4	22	27	5	5	93.38
	当 別	4	27	28	1	0	83.53
	小 計		255	271	16	13	86.87
4	札 幌	3	117	119	2	1	97.95
	札幌はまなす	4	16	18	2	3	86.11
	札 幌 北	4	34	39	5	3	92.91
	札幌モーニング	3	39	39	0	0	70.80
	札 幌 西	4	51	49	-2	8	81.05
	札幌西北	3	32	33	1	3	82.50
	札幌手稲	4	37	40	3	4	89.56
	小 計		326	337	11	22	85.84
5	札 幌 東	3	122	126	4	0	97.48
	札幌清田	4	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	2	70	69	-1	11	100.00
	札幌真駒内	3	24	23	-1	5	100.00
	札 幌 南	4	79	85	6	2	97.93
	札幌大通公園	4	13	13	0	1	37.49
	新 札 幌	3	24	25	1	3	90.08
小 計		348	356	8	26	89.00	
6	岩 内	3	19	21	2	1	84.74
	倶知安	3	39	40	1	5	70.80
	小 樽	3	74	76	2	2	84.62
	小樽南	3	73	72	-1	3	82.05
	小樽銭函	3	19	18	-1	1	75.00
	蘭 越	4	10	11	1	0	90.90
	余 市	3	48	46	-2	5	82.60
小 計		282	284	2	17	81.53	

5月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,616人(140人)
	増加会員数	90人
	当月平均出席率	83.32%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.5.31	増 減	内女性	
7	千 歳	3	54	59	5	3	91.57
	千歳セントラル	3	38	40	2	5	84.17
	恵 庭	3	46	48	2	2	80.82
	北 広 島	4	17	19	2	1	85.00
	長 沼	3	19	18	-1	3	76.00
	由 仁	3	8	9	1	0	66.67
小 計		182	193	11	14	80.71	
8	えりも	4	18	20	2	1	97.50
	三 石	5	13	13	0	1	79.84
	様 似	4	21	21	0	1	73.21
	静 内	3	64	68	4	1	86.60
	浦 河	4	22	25	3	1	89.00
	小 計		138	147	9	5	85.23
	9	伊 達	4	55	57	2	0
室 蘭		3	30	38	8	1	68.41
室 蘭 東		3	34	35	1	0	76.20
室 蘭 北		4	40	42	2	3	69.38
登 別		3	32	32	0	1	84.35
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	81.40
小 計		200	213	13	5	76.74	
10	函 館	3	82	85	3	1	75.93
	函館亀田	4	41	43	2	4	88.14
	森	4	33	36	3	0	95.00
	七 飯	4	17	17	0	0	67.83
	長 万 部	4	8	8	0	0	75.00
	函館セントラル	4	22	23	1	2	65.91
	小 計		203	212	9	7	77.97
11	江 差	4	12	12	0	1	92.00
	函館五稜郭	3	51	50	-1	0	81.68
	函 館 東	4	47	46	-1	5	75.15
	函 館 北	3	21	22	1	0	81.67
	北 斗	3	13	13	0	0	56.30
	松 前	2	4	3	-1	0	100.00
	小 計		148	146	-2	6	81.13
12	白 老	3	33	33	0	2	83.00
	苦小牧	3	51	53	2	2	85.11
	苦小牧東	3	27	26	-1	5	97.53
	苦小牧北	4	29	29	0	2	93.23
	小 計		140	141	1	11	89.72
合 計		2,526	2,616	90	140	83.32	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11人(内女性会員6人)を含む

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.6.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	34	0	3	80.61
	羽 幌	4	43	46	3	2	82.07
	妹背牛	4	11	9	-2	0	84.09
	留 萌	5	38	41	3	3	77.85
	小 計		126	130	4	8	81.16
2	赤 平	3	26	24	-2	0	84.61
	芦 別	4	37	34	-3	2	78.12
	砂 川	4	37	39	2	0	92.31
	滝 川	3	78	83	5	4	81.00
	小 計		178	180	2	6	84.01
3	美 唄	4	32	30	-2	0	87.10
	江 別	4	31	33	2	1	86.11
	江別西	4	26	28	2	3	87.50
	岩見沢	5	73	80	7	0	95.81
	岩見沢東	4	22	21	-1	3	87.87
	栗 沢	5	22	22	0	1	92.50
	栗 山	4	22	27	5	5	91.49
	当 別	4	27	28	1	0	84.49
	小 計		255	269	14	13	89.11
4	札 幌	4	117	120	3	1	96.57
	札幌はまなす	4	16	18	2	3	90.30
	札 幌 北	4	34	36	2	3	86.18
	札幌モーニング	5	39	37	-2	0	75.58
	札 幌 西	4	51	48	-3	8	73.74
	札幌西北	5	32	33	1	3	83.40
	札幌手稲	4	37	39	2	4	94.13
	小 計		326	331	5	22	85.70
5	札 幌 東	4	122	128	6	0	98.52
	札幌清田	4	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	70	67	-3	11	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	5	100.00
	札 幌 南	4	79	84	5	2	98.88
	札幌大通公園	4	13	12	-1	1	57.69
	新 札 幌	5	24	23	-1	3	95.90
	小 計		348	352	4	26	93.00
6	岩 内	5	19	18	-1	0	77.05
	倶知安	5	39	41	2	5	82.90
	小 樽	4	74	78	4	3	84.95
	小樽南	4	73	71	-2	3	87.35
	小樽銭函	5	19	18	-1	1	75.00
	蘭 越	4	10	10	0	0	90.90
	余 市	5	48	40	-8	3	85.70
	小 計		282	276	-6	15	83.41

6 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,552人(140人)
	増加会員数	26人
	当月平均出席率	84.56%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.6.30	増 減	内女性	
7	千 歳	5	54	58	4	3	91.38
	千歳セントラル	4	38	39	1	5	76.88
	恵 庭	4	46	48	2	2	88.28
	北 広 島	4	17	19	2	1	86.25
	長 沼	4	19	18	-1	3	70.00
	由 仁	5	8	6	-2	0	77.78
小 計		182	188	6	14	81.76	
8	えりも	4	18	20	2	1	96.25
	三 石	3	13	13	0	1	85.06
	様 似	4	21	21	0	1	76.79
	静 内	5	64	68	4	3	85.17
	浦 河	4	22	25	3	1	86.00
	小 計		138	147	9	7	85.85
	9	伊 達	4	55	55	0	0
室 蘭		4	30	35	5	1	64.48
室蘭東		5	34	32	-2	0	77.40
室蘭北		4	40	42	2	3	76.19
登 別		5	32	32	0	1	84.38
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	74.00
小 計			200	205	5	5	77.62
10	函 館	5	82	76	-6	0	78.90
	函館亀田	3	41	42	1	4	87.72
	森	4	33	36	3	0	100.00
	七 飯	4	17	17	0	0	70.00
	長 万 部	4	8	8	0	0	81.30
	函館セントラル	4	22	19	-3	2	78.95
	小 計		203	198	-5	6	82.81
11	江 差	4	12	12	0	1	67.00
	函館五稜郭	4	51	47	-4	0	80.96
	函 館 東	4	47	45	-2	5	76.53
	函 館 北	5	21	22	1	0	89.00
	北 斗	5	13	13	0	0	66.00
	松 前	-	4	0	-4	0	-
	小 計		148	139	-9	6	75.90
12	白 老	5	33	32	-1	2	83.00
	苦小牧	4	51	51	0	3	87.98
	苦小牧東	5	27	26	-1	5	94.62
	苦小牧北	4	29	28	-1	2	99.00
	小 計		140	137	-3	12	91.15
合 計		2,526	2,552	26	140	84.56	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11人(内女性会員6人)を含む
松前RCは6月30日をもってRIから脱会しました



表紙の解説

■ ふるさと百餅祭り（岩見沢市・9月中旬開催）

ドゥッス〜ンと豊作の響き…。見ごたえ満点！ 息をのむ迫力！

五穀豊穡、商売繁盛、長寿、岩見沢市の繁栄を祈願し、世界一の大白（直径2.0メートル、重さ4トン）と杵（200キロ）で1俵（60キロ）の餅を百餅若衆が音頭に合わせてつきあげる、ダイナミックな祭りです。